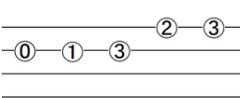


三線の花

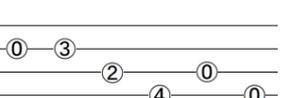
作詞：BEGIN
作曲：BEGIN
うた：BEGIN

Lo-G

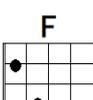
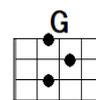
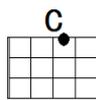
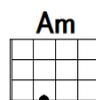
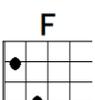
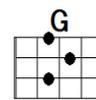
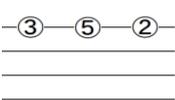


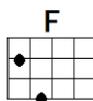
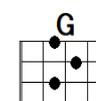
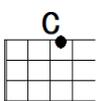
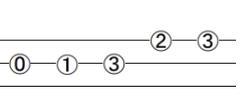
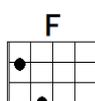
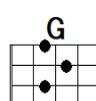
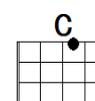
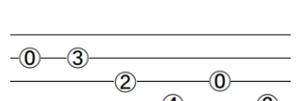




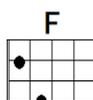
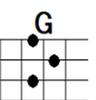
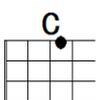
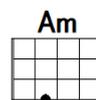
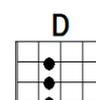
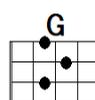
いつしか忘れられた オジの形見の三線

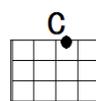
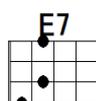
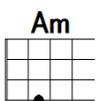
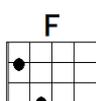
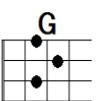
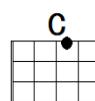
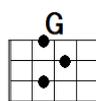
床の間で 誕生祝 の 島酒にもたれて

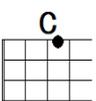
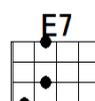
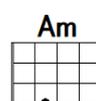
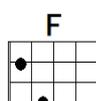
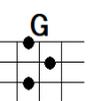
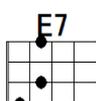
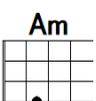
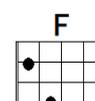
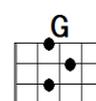
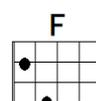
ほこりを指でなでて ゆるんだ糸を巻けば

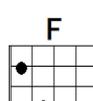
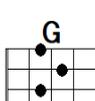
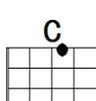
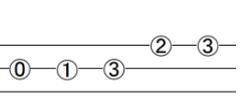
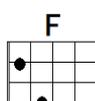
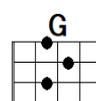
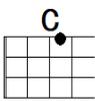
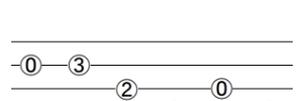
退屈で たまらなかつた 島唄が響いた

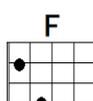
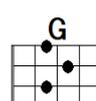
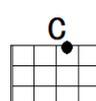
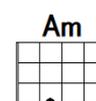
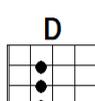
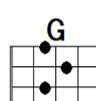
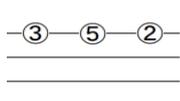
あざやかに よみがえる あなたと過ごした日々は

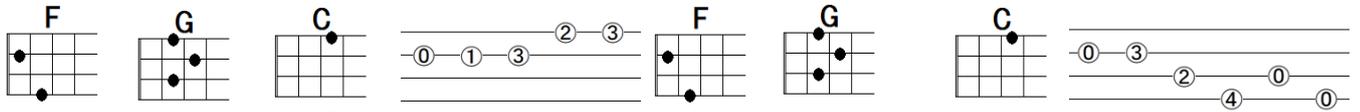
柔らかな 愛しさでこのむねを突き破り 咲いたのは 三線の花

テレビの斜向かいの あなたが居た場所に

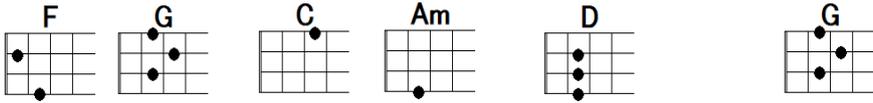








座れば アルミの窓から 夕月が 昇る



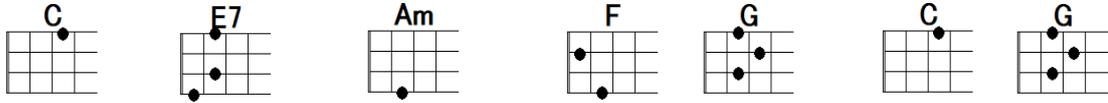
家族を眺めながら

飲む酒はどんな味

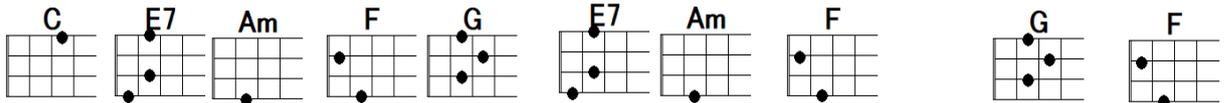


眠りに つく前 の

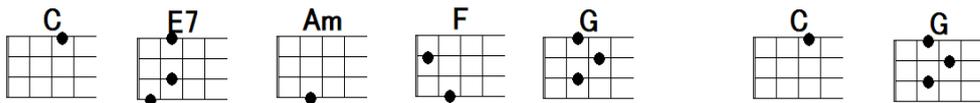
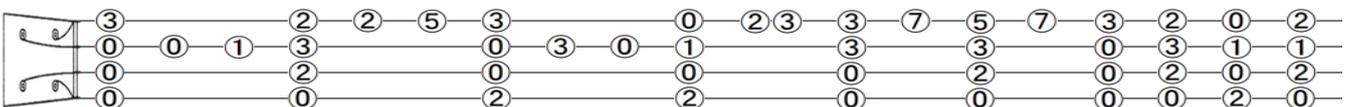
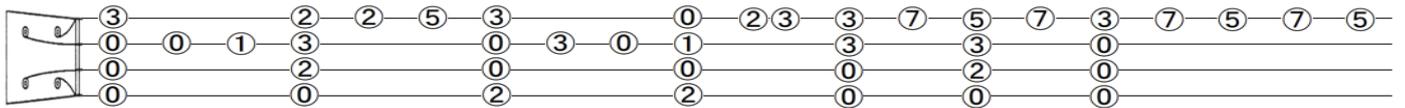
唄は 誰の唄



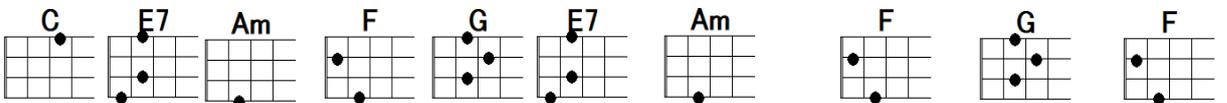
よろ こびも 悲しみ も いつの日か 唄える なら



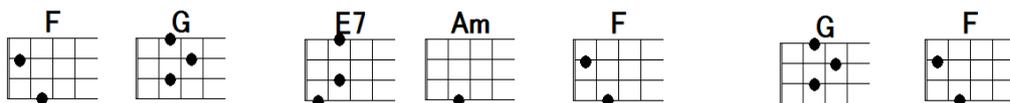
この島の土の 中秋に泣き 冬に耐え 春に咲く 三線の花



この空も あの海も 何も かたりはしない



この島に 暖かな 風となり 雨を呼び 咲いたのは 三線の花



秋に 泣き 冬に耐え 春に咲く 三線の花

